

健康宣言および推進体制

健康宣言

水戸信用金庫は、もっとも身近な金融機関として地域経済の発展に貢献していくためには、職員一人ひとりの健康が必要不可欠であると考え、職員の健康保持・増進に関する取り組みを行っております。

今後も健康保持・増進の取り組みを継続し、明るく伸びのびとした生きがいのある職場づくりを推進していくことを宣言いたします。

健康管理指針

1. 健康管理能力の向上

職員は自己の責任において健康管理を行うことを認識し、金庫は組織的かつ着実な健康管理活動を通じ、職員個人の健康管理能力の向上を支援する。

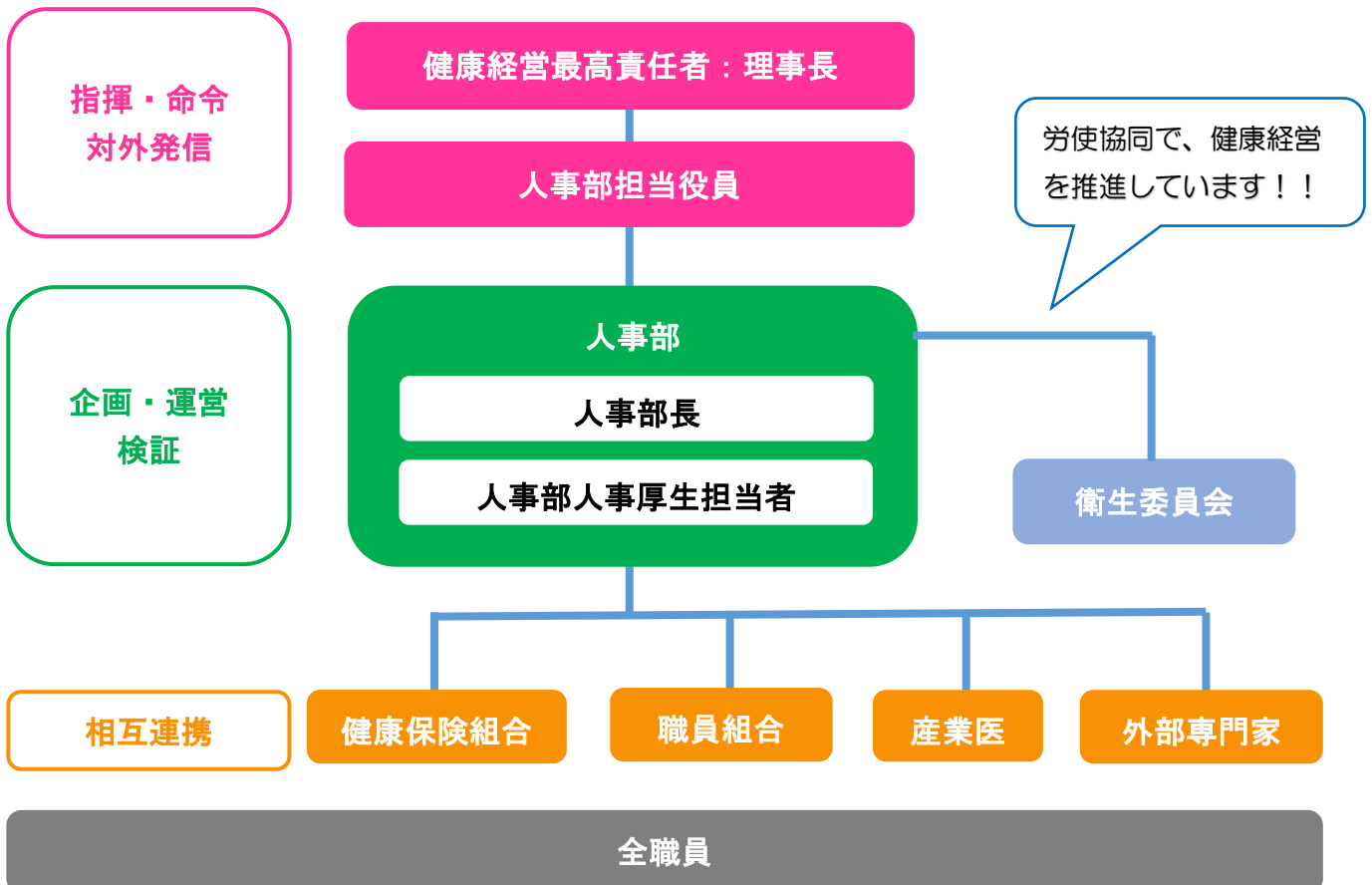
2. 快適な職場環境の形成

金庫はいきいきと業務が遂行できるよう職員の健康状態に常に配慮するとともに、職員が安心して働ける快適な職場環境の形成を通じて健康の確保を図る。

3. 将来を見据えた健康管理活動

金庫は健康保険組合と連携し、将来を見据えた健康管理活動を推進する。職員は金庫と健康保険組合が実施する健康管理活動に積極的に参加することを通じ、自己の健康保持・増進に取り組む。

[健康経営推進体制図]



健康経営実現に向けた取り組み

当金庫は、職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると評価され、令和4年度は「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」において認定を受けました。当金庫は、平成30年度から5年連続で認定を受けております。

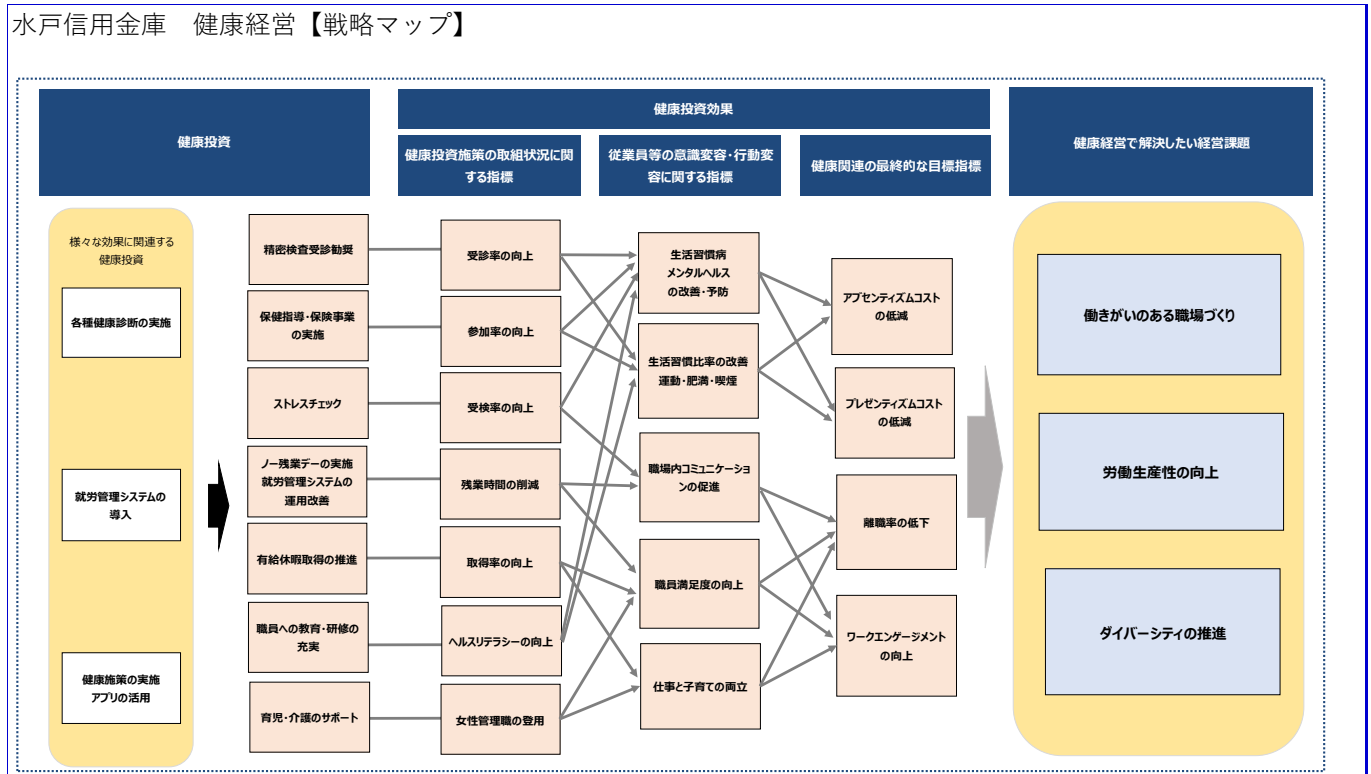


経営理念を実現し、多くのお客さまにご満足いただける金融サービスを提供するためには、職員一人ひとりの健康が必要不可欠であると考え、職員の健康づくりに関する取り組みを行っています。また、職員の心身の健康の保持・増進と働き方改革を積極的に支援するため、健康経営の目標値を設定し、目標値を達成するために、様々な施策を実施しています。

戦略マップ

当金庫では、健康管理を経営的視点で捉え、戦略的に実践するため「戦略マップ」を策定し、解決すべき健康課題を明確にしています。

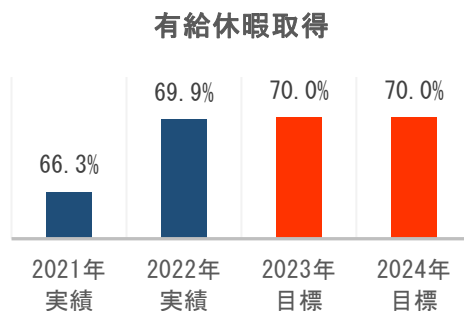
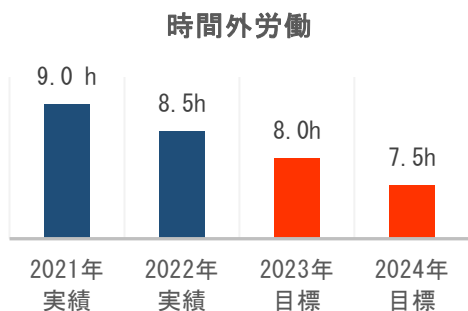
水戸信用金庫 健康経営【戦略マップ】



目標値の設定

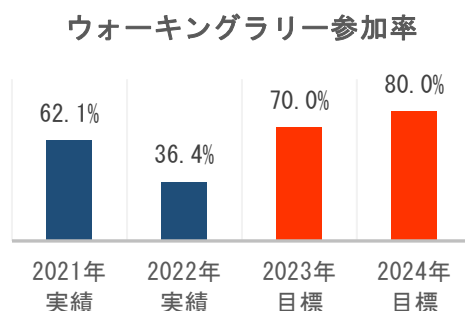
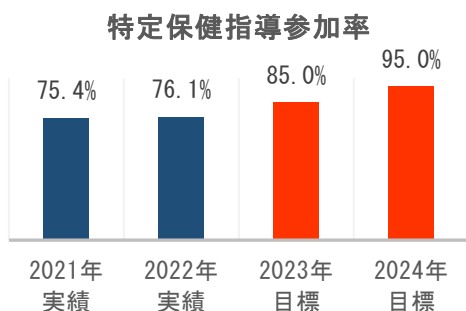
■ワーク・ライフ・バランスの充実

有給休暇取得の促進やメリハリのある働き方の実現等を通じて、職員一人ひとりがやりがいと充実感を持てる職場環境づくりに取り組んでいます。



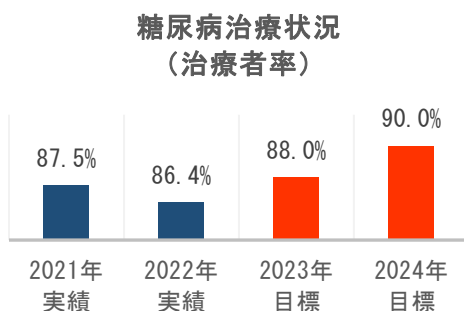
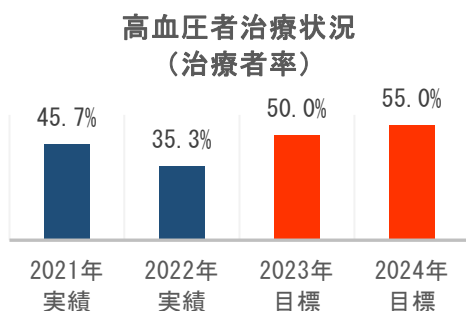
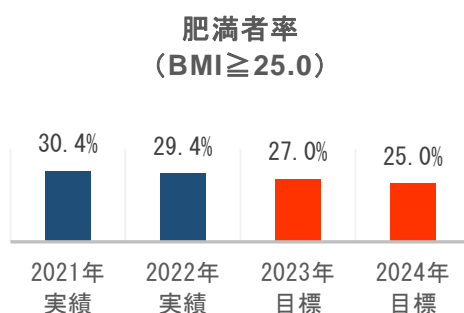
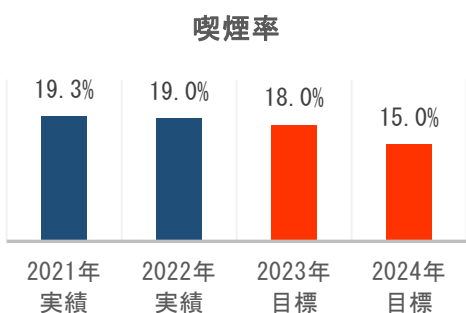
■職員の健康づくりのために

健康保険組合との協働（コラボヘルス）により、職員の健康増進と疾病予防を推進しています。



■生活習慣の改善・疾病の予防のために①

生活習慣病の予防のため、職員の生活習慣に関する目標値を設定しています。また、高血圧および糖尿病の重症化予防事業として、数値が基準値を超える職員に対する受診勧奨と保健指導を実施しています。

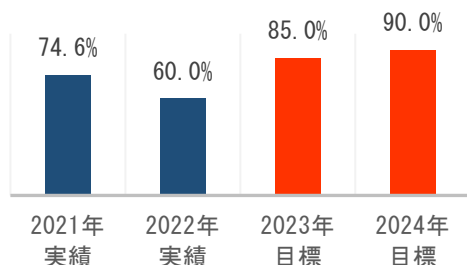


目標値の設定

■生活習慣病の改善・疾病の予防のために②

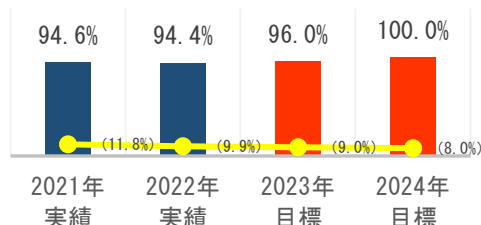
職員の心と体の健康のため、精密検査受診およびストレスチェック受検の勧奨をしています。職員が健康に働く環境づくりのため、精密検査受診率のアップが課題です。

精密検査受診率



ストレスチェック受検率

(※折線グラフ：高ストレス者率)



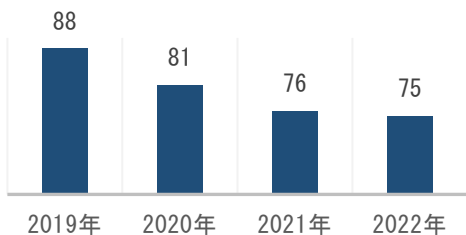
■働きがいのある職場づくりと労働生産性の向上を目指して①

将来のアブゼンティズムコストおよびプレゼンティズムコストの低減を目指し、実績値を開示しています。健康経営により、職員が健康に働き、持てる能力を十分に発揮できる環境づくりできると考え、具体的な指標としては、アブゼンティズムおよびプレゼンティズムを含めた健康負債一人当たり平均を500千円にすることを目指しています。

※測定方法（参考）

- ・アブゼンティズム： $【入院】のべ日数 \times 標準報酬月額 / 20 + 【外来受診】のべ回数 \times 0.5 \times 標準報酬月額 / 20$
- ・プレゼンティズム：医療費 $\times 3$

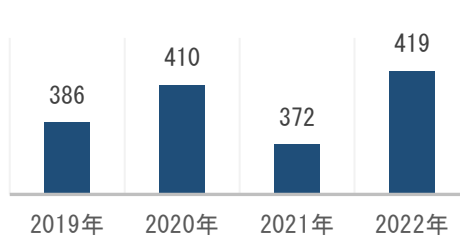
アブゼンティズムコスト (単位：百万円)



【アブゼンティズムコストとは】

病欠、病気休業により業務遂行ができなかったことによる欠勤コスト

プレゼンティズムコスト (単位：百万円)



【プレゼンティズムコストとは】

何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や労働生産性が低下したことによるコスト

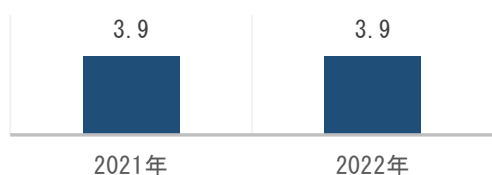
■働きがいのある職場づくりと労働生産性の向上を目指して②

健康経営の各施策の改善を目指し、各指標ごとの職員満足度を調査しています。調査を実施することで、職員一人ひとりの健康に対する意識づけや金庫における健康意識の更なる醸成を目指しています。

※測定方法（参考）

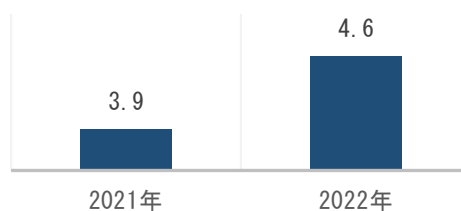
- ・2021年度1,039名、2022年度986名にe-ラーニングで職員（嘱託職員およびパート職員含む）に実施
- ・質問項目に対して、「5思う・4やや思う・3どちらでもない・2あまり思わない・1全く思わない」の5段階で集計し、平均を数値化している

仕事継続満足度
「ワークエンゲージメント」
(単位：pt)



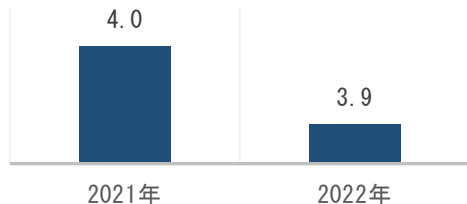
【質問内容】
やりがいを感じているか、引き続き仕事を続けたいか

休暇満足度
(単位：pt)



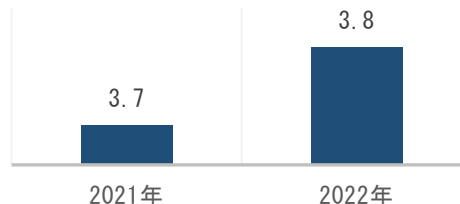
【質問内容】
有給休暇を取得しやすい環境であるか

労働時間満足度
(単位：pt)



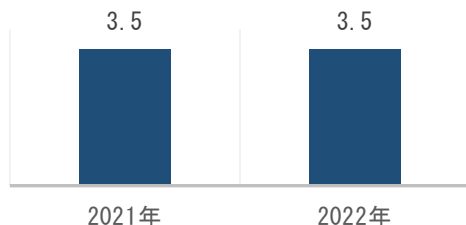
【質問内容】
ここ1年間の労働時間は適正であったか

福利厚生満足度
(単位：pt)



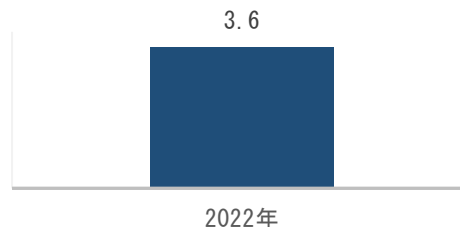
【質問内容】
福利厚生制度が、十分な内容になっているか

経営満足度
(単位：pt)



【質問内容】
職員一人ひとりが経営理念や経営方針をよく理解し、中期経営計画に沿って、組織的な取り組みができていますか

健康経営度
(単位：pt)



【質問内容】※2022年度が調査初年度
健康経営実現に向けた取り組みが、職員の健康増進や金庫の生産性向上につながっているか

健康診断受診率 100%

重症化予防の観点から、健康診断受診率 100%を目指し、平成 27 年より受診勧奨を行い、本人および直属の上司にも受診できる配慮をするよう勧奨文書を発信しております。平成 29 年度に受診率 100%を達成し、以後継続しています。

受動喫煙防止と禁煙の推進



受動喫煙を含めた職員の喫煙による健康被害を防止し、快適な職場環境の形成、生産性の向上を図るため、屋内、金庫敷地内の全面禁煙を実施しております。また、職員の健康維持増進を図り「健康経営」を実現するための取り組みの一環として、令和 5 年 1 月より就業時間中の禁煙を導入しております。

喫煙している職員に対し、北関東しんきん健康保険組合の「オンライン禁煙外来プログラム」への参加勧奨などを通じ、職員の禁煙サポートにも力を入れております。

全店一斉ノー残業デーの実施

平成 28 年より毎月「全店一斉ノー残業デー」を実施しています。営業店および本部が、毎週水曜日および金曜日に実施しています。また、毎月 1 月と 8 月は 1 週間連続でノー残業に取り組む「ノー残業チャレンジ week」を実施しています。事前に全職員へメール配信し周知すると同時にポスターを作成し、各職場に掲示しています。



年次有給休暇取得の推進

有給休暇取得率の対前年増加を目指し、有給休暇取得促進のための様々な制度を実施しています。



連続休暇（最大 5 日間）



誕生日休暇

ウォーキングプログラムへの参加

春と秋の年2回、1日平均4,000歩を目標とした各2ヵ月間のウォーキングラリーを毎年実施しています。プログラムへの参加を通じ、「健康意識（ヘルスリテラシー）」の向上や健康増進に役立てています。



水戸黄門漫遊マラソンのメインスポンサー

水戸信用金庫では、平成28年より開催されている「水戸黄門漫遊マラソン」を応援しています。全国から約10,000人以上のエントリーがある大会であり、約500名の当金庫役職員がボランティアやランナー応援隊としてバックアップしています。第1回大会からメインスポンサーを務め、地域の健康増進の普及活動を担っています。



歩こう・走ろう会の主催

千波湖（水戸市）と洞峰公園（つくば市）で歩こう・走ろう会を開催しております。景観を楽しみながら、3時間でウォーキングをしたり、フルマラソン同様に自分の限界に挑戦したり、参加者それぞれの楽しみ方ができるプログラムとなっています。この活動を通じて、地域のお客さまに健康増進に取り組む機会を提供しています。

